

中里さんとの懇親会

中里さんをネタにした夏の小石川高校Dクラス会

日時: 7月21日(金) 18時30分～21時過ぎ

場所: 千石プラザ(2階かえでの間)
〒112-0011 東京都文京区千石4-6-12





播磨、塚田、吉川



松木、二ノ宮



金堀、柴田





村口、堀、刈込、石井



中里、小林、鈴木



岩岡、額賀



中里





中里さん:

本当に久しぶりでした。昔のままの甘いマスクに加えて悠揚迫らぬ性格がさらに磨かれたようで。これも印度の大地のなせるわざか。

小林さん:

いろいろお世話いただきありがとうございました。この借りはいつかはちゃんと返します。(とか言ってもいつのことか判りません)日立の設備、料理はどこへ行っても立派なものですね。2次会は終了間際に 恒例の「青い山脈」を合唱してギリギリ2時間分でセーフでした。

松木さん:

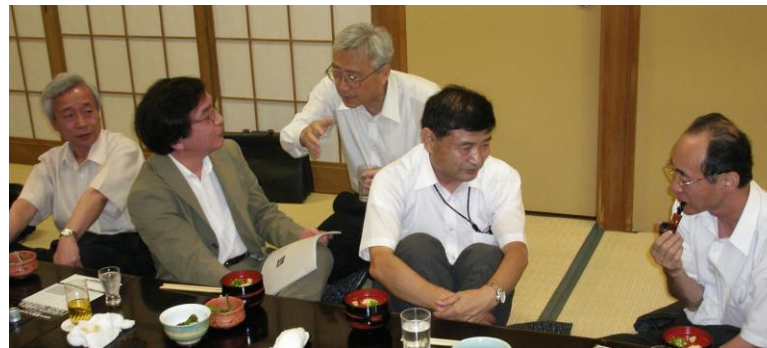
会計ご苦労様です。

皆様:

来年の正月までには 還暦を迎える方が大半のようですので正月5日は 盛大に お祝い、厄落としをやりましょうか。何か趣向があるとよいですね。みんなでアイデアを出しませんか。
以上 塚田メールより



盛り上がってきています





皆様: 塚田さんからのメールで、悠揚迫らぬべくも、クラス会の組織がようやく分かってきました。世話役の皆さん、どうもありがとうございました。当日はちよっと早く着いたので、小石川の周りを歩いて見ました。校舎は変わりましたが、銀行や材木屋さんは昔のままですね。

小林さん: インドファンだとはつゆ知らず、失礼しました。近いうちにデリーのローディー・ガーデンを散歩しましょう。

村口さん: お忙しいところ、ありがとうございます。昔と違って、頭に髪の毛ののっているせいか、いちばん若く見えました。

松木さん: デュエットにつきあっていただきありがとうございました。採点がNG(?)になってしまったのは、全部ぼくの責任です。

柴田さん: 同窓会の際はお手伝いできず済みませんでした。降って湧いたような研究所の建物の耐震強度問題で、Is値とか、慣れないことを勉強しているところです。

金堀さん: パワーに圧倒されました。もうちょっとゆっくりお話したかったです。

吉川さん: あの時の情景をまざまざと思い起こしました。人生を全うするのはむずかしい。この2、3年、最後の辻合わせに追まられるようにして暮らしています。

石井さん: 今度本郷方面に来るときは、寄ってみてください。研究所の仮移転先は、理学部プレハブ研究A棟の2階です。バス停のすぐ傍です。

刈込さん: 昔のことを覚えていただいて感激しました。ぼくの方とはいうと、本当に何にも覚えていません。どうしても思い出せません。不思議なものですね。

鈴木さん: つくばからわざわざ有り難うございました。理系、文系と違って、同じ研究所勤め。愚痴など聞いてもらいたかった気がします。

堀さん: 42年も経ったのに、雰囲気がいちばん変わっていないと感じました。

二ノ宮さん: 大学教師はそうしようと思えば、一日何もしないでいることもできるのですが、これは絶対よくありません。どんどん仕事をしましょう。

播磨さん: 最近大学も経営の真似事を始めていますが、危なっかしくてみちやいられません。お仕事、頑張ってください。ぼくの方は63で打ち止めです。

岩岡さん: 飲めない身ながら、最近日本酒に目覚め、いろいろ試しています。「菊水」はなかなか結構でした。神戸にいたとき「呉春」というお酒をならいました。大阪のお酒です。

額賀さん: 日銀神戸支店長額賀信の文章を朝日新聞紙上で見たのは、96年だったでしょうか、97年だったでしょうか。思慮深さを感じさせるよい文章でした。

塚田さん: 最後に会ったのは、就職が決まったことを教えてもらったときでした。ですから、あれからもう30数年。貫禄がついて落ち着いたように見えるけれど、強気で突っ張る塚田は変わっていない。そう思いました。

12月、1月は日本にいないことが多いのですが、今年は耐震補強工事等々の問題で日程の見直しをせざるをえなくなっています。もしかしたら、1月のクラス会に参加できるかもしれません。いずれにせよ、また お会いするのを楽しみにしています。

中里成章 拝



カラオケを楽しむ @ 巣鴨





参加できなかった井上

井上さん

ほくも残念でした。でも、そのうちお会いできるでしょう。今は東京にいます。

勤務先は60歳停年(国立大学では「定年」とは書かないようです。変な慣習です)でしたが、5、6年前に、3年ごとに1年間停年を延長し、最終的には65歳にする方針を打ち出しました。ほくの場合は63歳停年になります。あと3年8ヶ月あるわけです。それまでにやりかけの仕事を片付けることができるか、かなりきわどい状況になっています。

中庸がいいというのは、人文社会系の研究者にも当てはまるようです。理科系は別でしょうが、人文社会系で独創性を示すのは本当にむずかしい時代になってきました。それを無理してやろうとすると、単なる知的アクロバットになってしまいます。自分の限界をわきまえて、ウソや間違いの少ない仕事をするのを心がけるのがよいようです。

11月から1月までメルボルン近郊の大学で過ごしました。行ってみると、大学の教員用レストランは別にして、徒歩圏にはマクドナルドくらいしかないところでした。そのかわり、自然に恵まれたキャンパスを楽しんだのですが、飢え死にしないように初めて自炊をしました。ビーフステーキから始めて、ムニエル、ハンバーグ、肉野菜炒め等々、易しそうなのをいろいろつくってみました。停年退職後、子供が独立したら、家内と交代で料理してみようかなと思っています。なお、メルボルンのレストランの料理は◎でした。バラマンディという白身の魚は、メルボルンまで出かけて試してみる価値があるかもしれませんよ。

ではお元気で

中里成章

参加者(敬称略):16名

中里、堀、刈込、播磨、吉川、岩岡
塚田、石井(久一)、額賀、柴田、村口、
金堀(上野)、鈴木(憲)、松木(樋口)、二ノ宮、小林